

和食の日は、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをきっかけに、日本人の伝統的な食文化について見直し、和食文化の保護・継承の大切さについて考える日として制定されました。給食では、ご飯を主食として和食を中心に、行事食や郷土料理を取り入れ、子どもたちに伝統的な食文化を伝えていきます。